

輝く加東 まちづくりコンソーシアム 設立記念フォーラム

開催日 12月17日(土)
場所 兵庫教育大学ほか

1. 教育子午線モニュメント除幕式

時間 9:00~9:20
場所 東野街角公園(兵庫教育大学附属小学校東)

2. 記念フォーラム

時間 10:00~11:50
場所 兵庫教育大学講堂
内容 兵庫教育大学の概要説明や加治佐学
長への質問で、大学について理解を深めてい
ただいた後、参加者のみなさんから、まちづく
りへの期待や夢などについて、リレートーク形
式で発言いただきます。

3. みんなの交流会

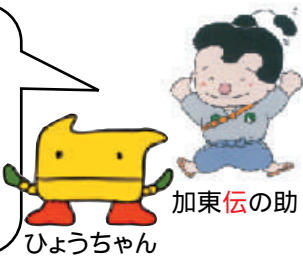
時間 12:00~15:00
場所 大学キャンパス、学生食堂など
内容

キャンパス巡り
体育施設、図書館、研究室、講義風景、
部活動見学
物産コーナー
JAミニふれすこ(農産物等の販売)、オリジ
ナル健康食・外国人留学生による飲み物の
提供、こだわりグルメコンテスト入賞作品の
紹介、社高校生による手作りクッキー・加東
伝の助グッズ等の販売
学生食堂の開放

教育子午線モニュメント

コンソーシアム設立を記念し、東
野街角公園(兵庫教育大学附属小
学校東)にブロンズ像を設置します。
教育や学問を司る女神像が、加
東市を中心として日本列島を抱き
かかえるデザインで、「教育子午線
のあるまち 加東」を象徴しています。
制作者である兵庫教育大学准教
授 村上裕介さんは、「日本の中心
に位置する加東市から発信する知
識を生かし、未来を担う子どもたちが
素晴らしい日本を築いてほしいと
(モニュメントイメージ)という思いを込めた」と話されました。

問い合わせ
加東市企画政策課
(社庁舎 ☎43-0388
兵庫教育大学
広報・社会連携事務室
☎44-2303



記念フォーラムでは、手話通訳・託児サービスを行います。
託児サービスを希望される方は、事前にご連絡ください。



外国人留学生在市内のイベントに参加するなど、加東市には異文化交流の機会が数多くあります



スポーツクラブなどで学生から指導が受けられるのも、加東市に住む魅力のひとつ

地域に支えられ、 地域に役立つ兵庫教育大学

兵庫教育大学長 加治佐 哲也



国立大学法人兵庫教育大学は、
30余年前に社町(現加東市)に創
設され、以来、地元加東市や市
民のみならず多大のご支援
をいただいております。それ
に対し、本学は市民や学校の教職
員対象のさまざまな講座を行い、
地域に役立つ大学であることを心がけてきました。

このたび、両者の連携をさらに強めるために、「輝く加東 まちづくりコンソーシアム」が設立されることになりました。コンソーシアムによって、相互のWIN-WINの関係はいつそう発展すると確信しています。本学が加東市に立地するからこそ、他の地域では真似のできない、このような揺るぎない結びつきをつくることのできたと考えています。

学生時代は吹奏楽部だったので、地域のイベントや老人ホームなどで演奏したのが良い思い出です。現在は2児の母親です。加東市は公園も多く、児童館も使いやすく、子育てには良い環境ですね。市の広報紙やケーブルテレビで大学行事をPRして、母校がもっと市民の身近な存在になればいいと思います。



兵庫教育大学卒業生
藤原由加里さん(木梨・愛媛県出身)

体を動かすことが好きなので、体育施設が充実している加東市は、とても便利です。京阪神に近いのも魅力です。市と大学の連携が進むことで、学生が地域の行事に気軽に参加できる機会が増えると嬉しいです。



兵庫教育大学 学校教育系コース
副島 祥さん(佐賀県出身)



約1,600人の学生が学ぶ嬉野キャンパス。図書館・教材文化資料館・体育施設・講堂など、大学施設の一部は地域住民も利用できます(体育施設・講堂等は要予約)



加東市のみなさんとの交流も
楽しみにしています。

さまざまなサークルの活動が、
市内のイベントで楽しめます



市民の学習意欲に応える公開講座も、多
数開催されています(写真:絵画制作講座)



市内の小学校では、学生による学習サ
ポートが受けられます(学習チューター)



大学教員によるケーブルテレビでの講座
(放送大学)も、人気を集めています

市と兵庫教育大学が中心となり、教育だけでなく、産業振興、健康づくり、子育て支援、まちづくりなど、あらゆる分野でさらなる連携強化を深めることで、支えあいと活力のある社会づくりを推進する「輝く加東まちづくりコンソーシアム」を設立します。

兵庫教育大学は、小学校および幼稚園の教員を養成する学部と、主として現職の教員が研修・研鑽を行う大学院をもつ大学として、昭和53年に下久米地区に開学しました。「開かれた大学」「発信する大学」を基本理念に運営されており、これまでから、地域住民の学習意欲に応えるため、大学教員の専門性を生かした多種多様な公開講座をはじめ、学校や学習サークルなどへの講師派遣、地域の子どもや保護者などを対象とした相談窓口の設置、留学生らとの国際交流、地域住民への施設開放などが行われてきました。

このように、地域と大学はさまざまな形で深く関わり合っており、それは加東市に住む大きな魅力となっています。こうした交流・連携をさらに推進するため、コンソーシアム(共同体)を設立します。構成団体は、市と大学のほか、市商工会、市観光協会、JA

大学院で、より良い保育のあり方についての研究を進めています。加東市内の保育所での実習や、地域子ども教室での小学生たちとの触れ合いが、保育・教育に携わる上での自分の基礎となりました。これからも、さまざまな形で、地域の方々と交流していきたいですね。



兵庫教育大学大学院 幼年教育コース
丸毛幸太郎さん(長崎県出身)

大学があるまち加東市

市と兵庫教育大学が中心となり、教育だけでなく、産業振興、健康づくり、子育て支援、まちづくりなど、あらゆる分野でさらなる連携強化を深めることで、支えあいと活力のある社会づくりを推進する「輝く加東まちづくりコンソーシアム」を設立します。

みのりなど、14団体です。構成団体からは、「若い世代からアイデアを提言してもらおう」として、新しい観光事業を展開できれば(市観光協会・宮崎良平会長)、「大学の知識を活用しながら、農産物の品質向上と、次世代の若者が育つ地域づくりを目指したい(JAみのり・上羅堯己代表理事組合長)」など、地域活性化や情報発信に向けて、大きな期待が高まっています。